

香川高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	英語ⅡB	
科目基礎情報							
科目番号	1126		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	通信ネットワーク工学科 (2019年度以降入学 者)		対象学年		2		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	Vision Quest English Expression 1, Hyper Listening Elementary, Speaking Gym Basic						
担当教員	福留 アンジェラキャサリン						
到達目標							
英語のネイティブ・スピーカーがスピードやポーズなどにある程度配慮した時、日常生活での話題や簡単な説明・指示を理解することができる。 検定教科書(高2対象)の本文や外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を読んで内容の大筋を理解できる。外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語(Y.L.0.5以上)を辞書無しで読むことができる。 簡単な単語と基本構文を用いて、ショートスキットを作ることができる。 与えられた身近なテーマに対して自分の経験や考えについて、辞書や機械翻訳を利用して、10～15文程度の文章を間違いを恐れることなく、論理的に書くことができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	英語のネイティブ・スピーカーがスピードやポーズなどにある程度配慮した時、日常生活での話題や簡単な説明・指示を理解することができる。		英語のネイティブ・スピーカーがスピードやポーズなどにある程度配慮した時、日常生活での話題や簡単な説明・指示を理解することができる。		英語のネイティブ・スピーカーがスピードやポーズなどにある程度配慮した時、日常生活での話題や簡単な説明・指示を理解することができない。		
評価項目2	検定教科書(高2対象)の本文や外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を読んで内容の大筋を理解できる。外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語(Y.L.0.5以上)を辞書無しで読むことができる。		検定教科書(高2対象)の本文や外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を読んで内容の大筋を理解できる。外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語(Y.L.0.5以上)を辞書無しで読むことができる。		検定教科書(高2対象)の本文や外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を読んで内容の大筋を理解できない。外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語(Y.L.0.5以上)を辞書無しで読むことができない。		
評価項目3	簡単な単語と基本構文を用いて、ショートスキットを作ることができる。		簡単な単語と基本構文を用いて、ショートスキットを作ることができる。		簡単な単語と基本構文を用いて、ショートスキットを作ることができない。		
評価項目4	与えられた身近なテーマに対して自分の経験や考えについて、辞書や機械翻訳を利用して、10～15文程度の文章を間違いを恐れることなく、論理的に書くことができる。		与えられた身近なテーマに対して自分の経験や考えについて、辞書や機械翻訳を利用して、10～15文程度の文章を間違いを恐れることなく、論理的に書くことができる。		与えられた身近なテーマに対して自分の経験や考えについて、辞書や機械翻訳を利用して、10～15文程度の文章を間違いを恐れることなく、論理的に書くことができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	実践的コミュニケーション能力を身につけるために、英語の4技能を伸ばす訓練を行う。						
授業の進め方・方法	Speaking Gym Basicの教科書を用いてスピーキングやライティング練習を行う。 Hyper Listening Elementaryの教科書を用いてリスニング活動を行う。 Vision Quest English Expression1を用いてリーディングやライティング活動を行う。						
注意点	オフィスアワーは火曜日						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス 英会話 Activity 1		中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2		
		2週	Hyper Listening Lesson 1 Vision Quest Expressing L1		中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2		
		3週	Hyper Listening Lesson 2 Vision Quest Expressing L2		中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2		
		4週	Hyper Listening Lesson 3 Vision Quest Expressing L3		中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2		
		5週	Hyper Listening Lesson 4 Speaking Gym Basic L1 L2		中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2		
		6週	Hyper Listening Lesson 5 Speaking Gym Basic L3 L4		中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2		
		7週	Speaking Gym Basic L5 L6		中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2		
		8週	前期中間試験				
	2ndQ	9週	中間試験解説 Speaking Gym Basic L7 L8		中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2		

後期		10週	Hyper Listening Lesson 6 Vision Quest Expressing L4	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2
		11週	Hyper Listening Lesson 7 Vision Quest Expressing L5	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2
		12週	Hyper Listening Lesson 8 Vision Quest Expressing L6	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2
		13週	Hyper Listening Lesson 9 Speaking Gym Basic L9 L10	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2
		14週	Hyper Listening Lesson 10 Speaking Gym Basic L11L12	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2
		15週	Speaking Gym Basic L13 L14	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2
		16週	前期末試験解説	
	3rdQ	1週	Hyper Listening Lesson 11 Speaking Gym Basic L15 L16	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2
		2週	Hyper Listening Lesson 12 Vision Quest Expressing L7	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2
		3週	Hyper Listening Lesson 13 Vision Quest Expressing L8	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2
		4週	Hyper Listening Lesson 14 Vision Quest Expressing L9	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2
		5週	Hyper Listening Lesson 15 Speaking Gym Basic L17L18	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2
		6週	Show and Tell Speaking Gym Basic L19 L20	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2
		7週	復習	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2
		8週	後期中間試験	
	4thQ	9週	後期中間試験解説 英会話 Activity 10	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2
		10週	Hyper Listening Lesson 16 Vision Quest Expressing L10	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2
		11週	Hyper Listening Lesson 17 Vision Quest Expressing L11	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2
		12週	Hyper Listening Lesson 18 Vision Quest Expressing L12	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2
		13週	Hyper Listening Lesson 19 英会話 Activity 11	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2
		14週	Hyper Listening Lesson 20 英会話 Activity 12	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2
		15週	復習	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 b1:1,2 b2:1,2
		16週	後期末試験解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	前1,前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2

			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	前3,前4,前9,前11,前13,後2
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2

				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				合意形成のために会話を成立させることができる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				あるべき姿と現状との差異(課題)を認識するための情報収集ができる	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				複数の情報を整理・構造化できる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				特性要因図、樹形図、ロジックツリーなど課題発見・現状分析のために効果的な図や表を用いることができる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				グループワーク、ワークショップ等による課題解決への論理的・合理的な思考方法としてブレインストーミングやKJ法、PCM法等の発想法、計画立案手法など任意の方法を用いることができる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				事実をもとに論理や考察を展開できる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2
				結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	3	前2,前3,前4,前9,前11,前13,後2

評価割合

	試験	発表	相互評価	小テスト	教室内活動、宿題	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0